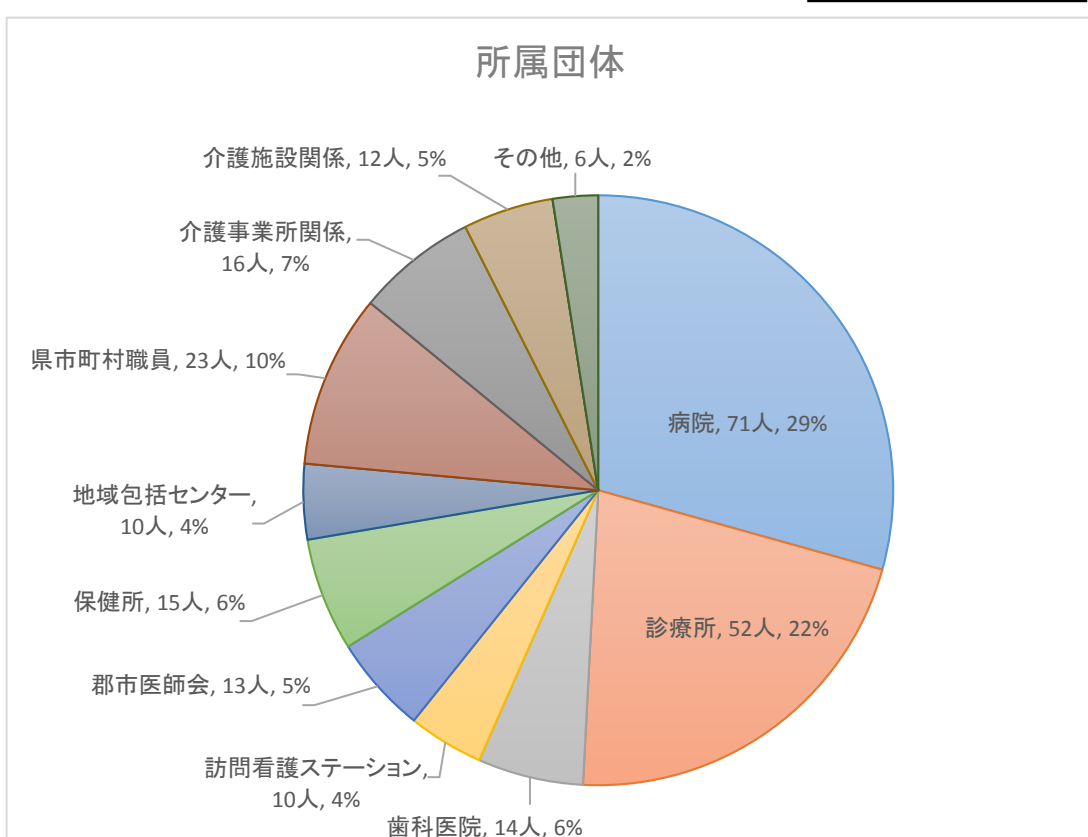


所属

病院	71人	29%
診療所	52人	21%
歯科医院	14人	6%
訪問看護ステーション	10人	4%
郡市医師会	13人	5%
保健所	15人	6%
地域包括センター	10人	4%
県市町村職員	23人	9%
介護事業所関係	16人	7%
介護施設関係	12人	5%
薬剤師会	0人	0%
その他	6人	2%
未回答	1人	0%
	243人	

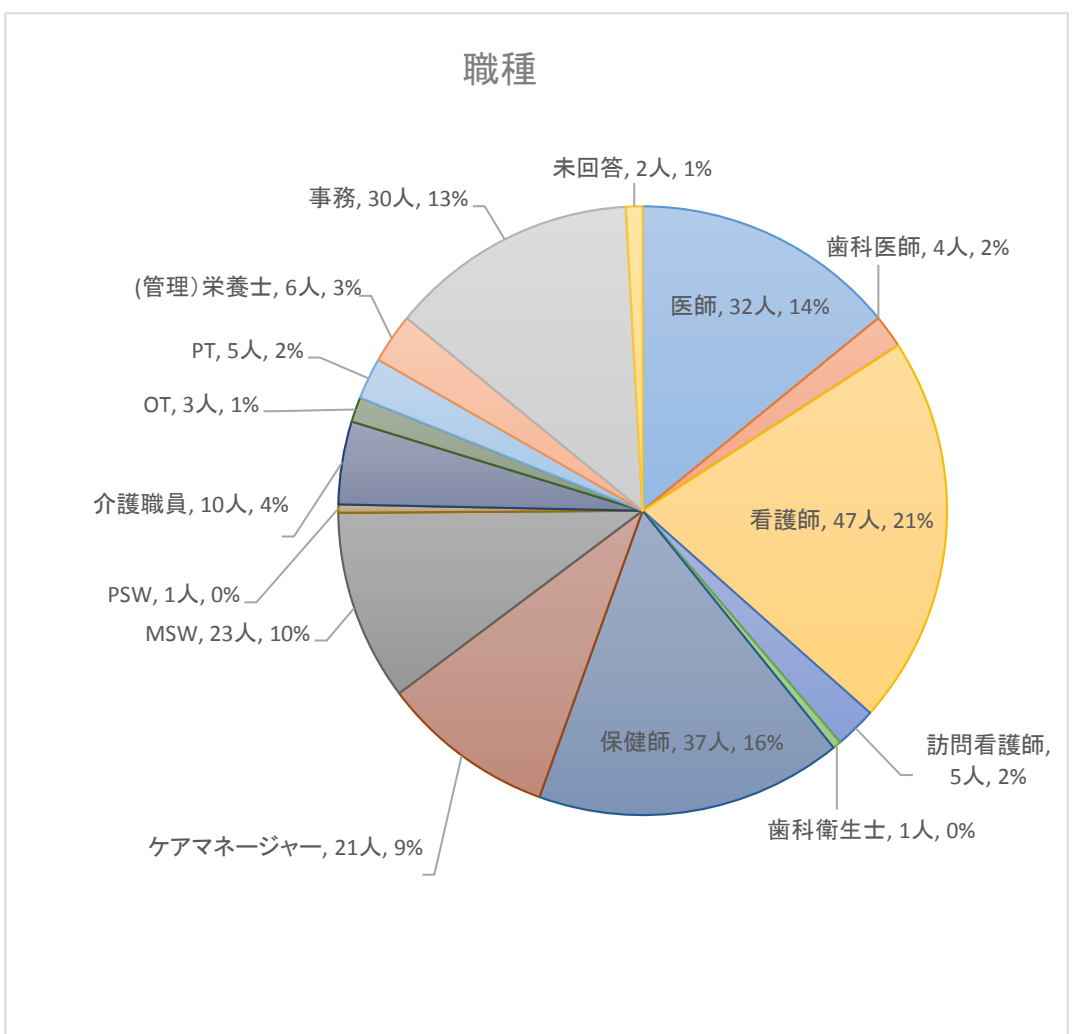
所属と職種をお答えください



職種

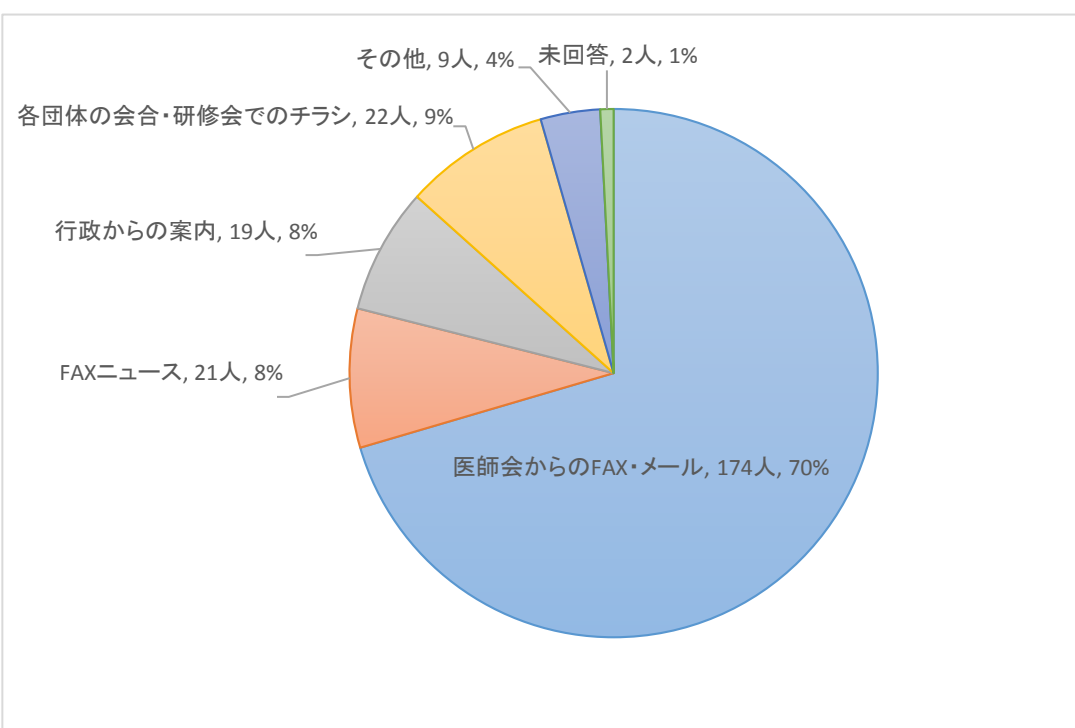
複数回答あり

医師	32人	14%
歯科医師	4人	2%
薬剤師	0人	0%
看護師	47人	20%
訪問看護師	5人	2%
歯科衛生士	1人	0%
保健師	37人	16%
ケアマネージャー	21人	9%
MSW	23人	10%
PSW	1人	0%
介護職員	10人	4%
OT	3人	1%
PT	5人	2%
(管理) 栄養士	6人	3%
事務	30人	13%
未回答	2人	1%
その他	6人	3%
	233人	



1 今回の研修会はどのようにしてお知りになりましたか。(複数回答可)

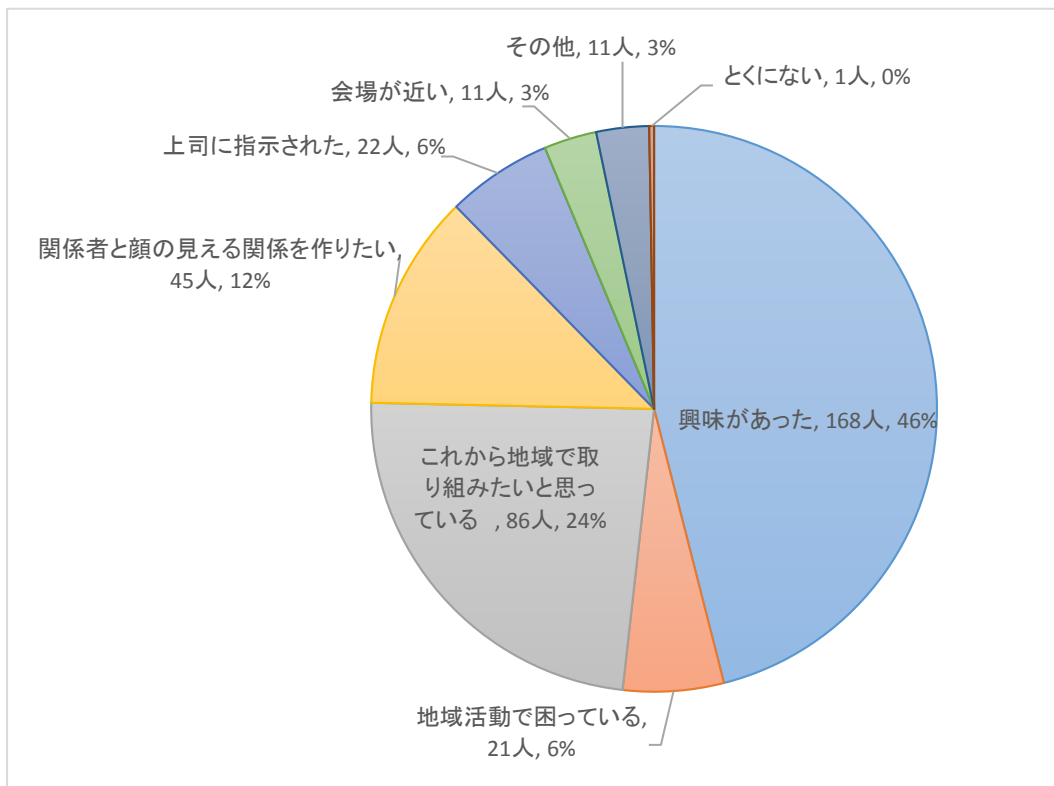
医師会からのFAX・メール	174人	70%
FAXニュース	21人	9%
行政からの案内	19人	8%
各団体の会合・研修会でのチラシ	22人	9%
その他	9人	4%
未回答	2人	1%
	247	



その他：勤務先より案内4名、インターネット2名、

2 研修会に参加しようと思われたきっかけは何ですか。(複数回答可)

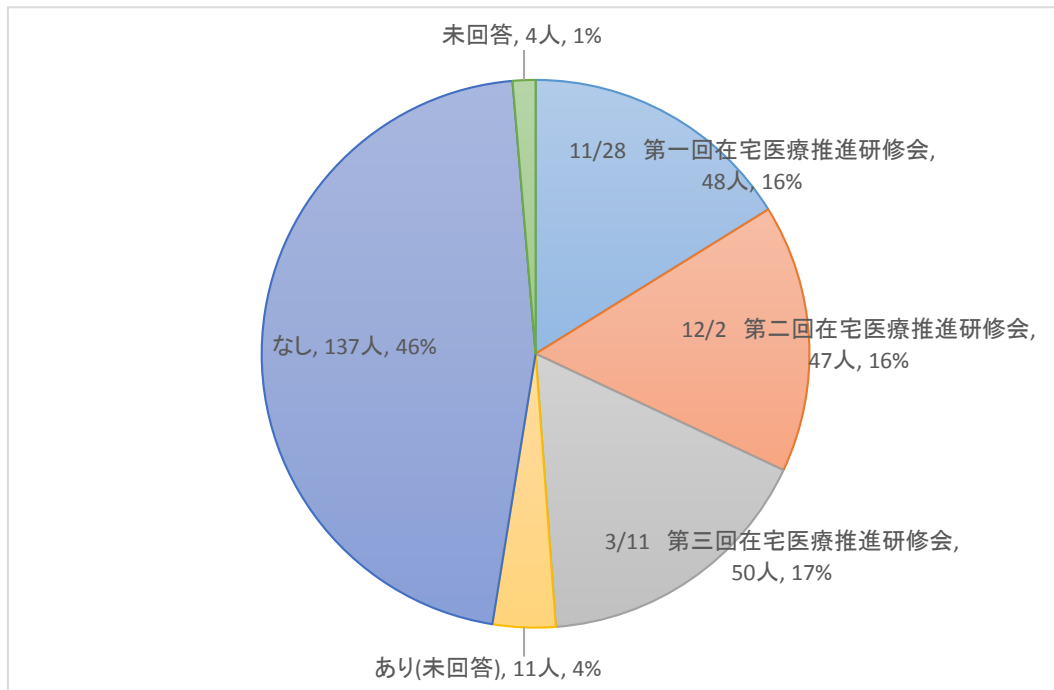
興味があった	168人	46%
地域活動で困っている	21人	6%
これから地域で取り組みたいと思っている	86人	23%
関係者と顔の見える関係を作りたい	45人	12%
上司に指示された	22人	6%
会場が近い	11人	3%
その他	11人	3%
とくにない	1人	0%
未回答	2人	1%
	367人	



参加理由：在宅医療連携体制の構築の参考に/日本医師会や大学の到達点や課題を見極めたかった/勉強になると思ったから、知識を広げたい等/今後介護保険はどうなっていくのか。在宅医療はチームなしには成せないと思っているがチームに入っていくことが難しい。そこを学びたい/講演内容に興味を持った

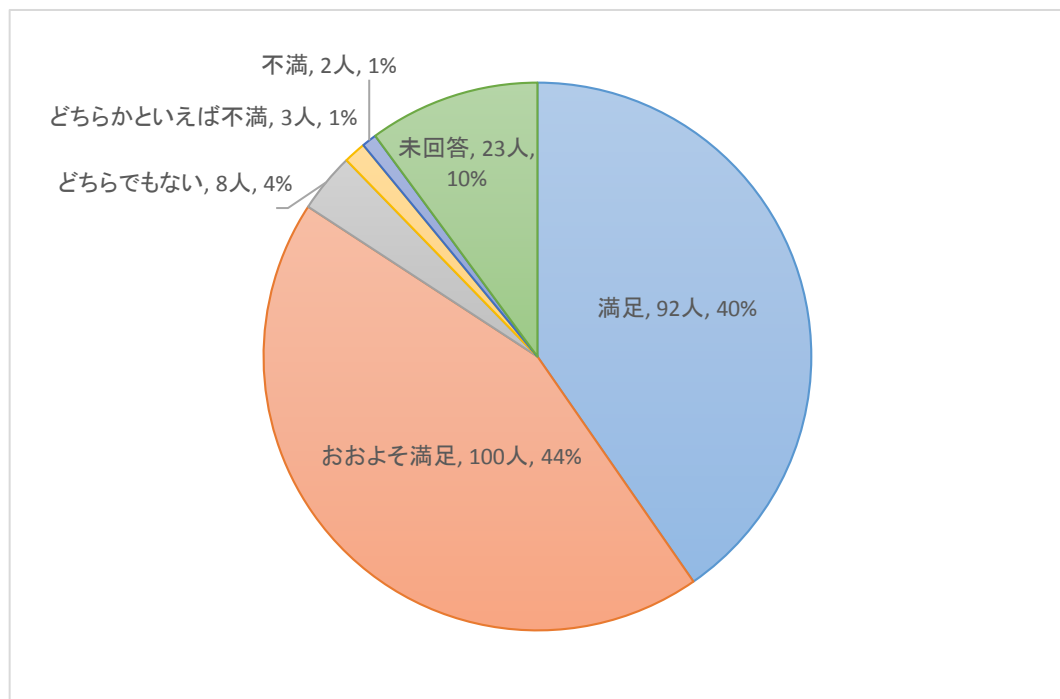
3 これまで当会の在宅医療推進研修会に参加されたことはありますか。(1つのみ回答)

11/28 第一回在宅医療推進研修会	48人	21%
12/2 第二回在宅医療推進研修会	47人	21%
3/11 第三回在宅医療推進研修会	50人	22%
あり(未回答)	11人	5%
なし	137人	60%
未回答	4人	2%
	297	



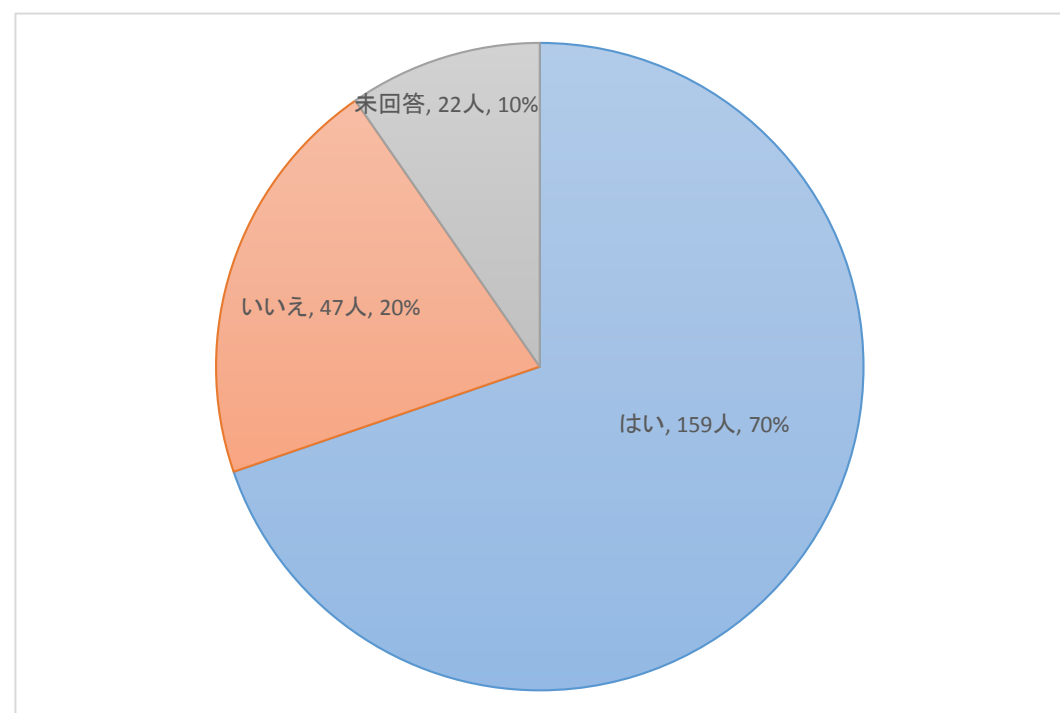
4 本日の研修内容はいかがでしたか。(1つのみ回答)

満足	92人	40%
おおよそ満足	100人	44%
どちらでもない	8人	4%
どちらかといえば不満	3人	1%
不満	2人	1%
未回答	23人	10%
	228人	



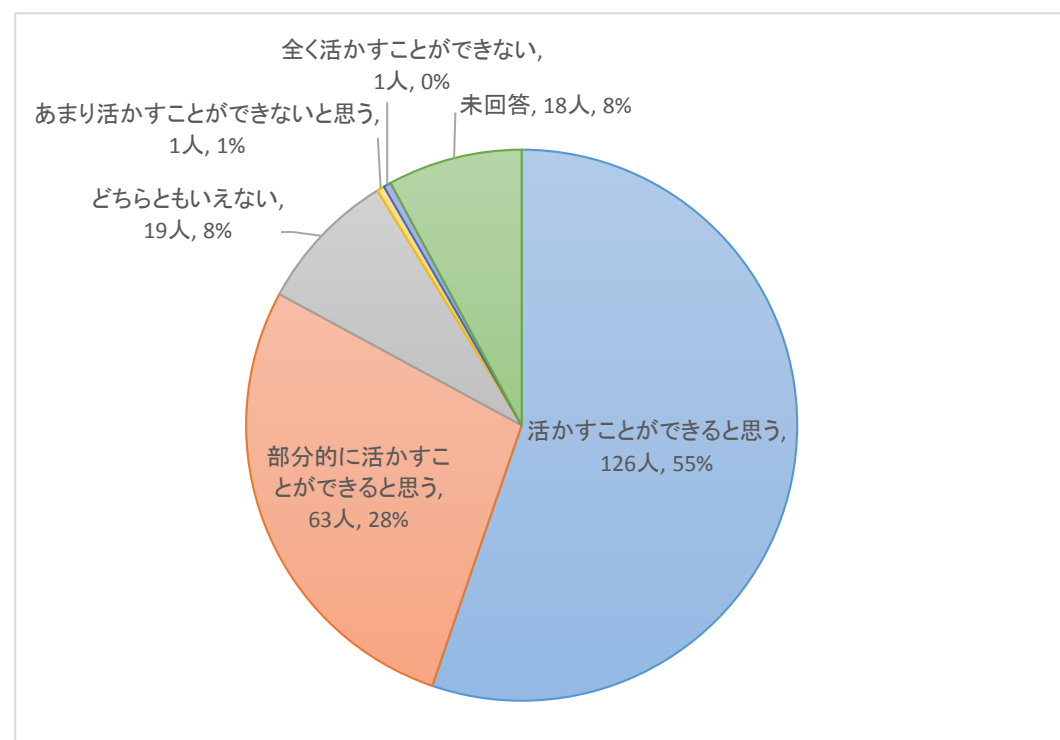
5 あなた、またはあなたの職場は、現在 在宅医療において多職種連携に取り組まれていますか。(1つのみ回答)

はい	159人	70%
いいえ	47人	21%
未回答	22人	10%
	228人	



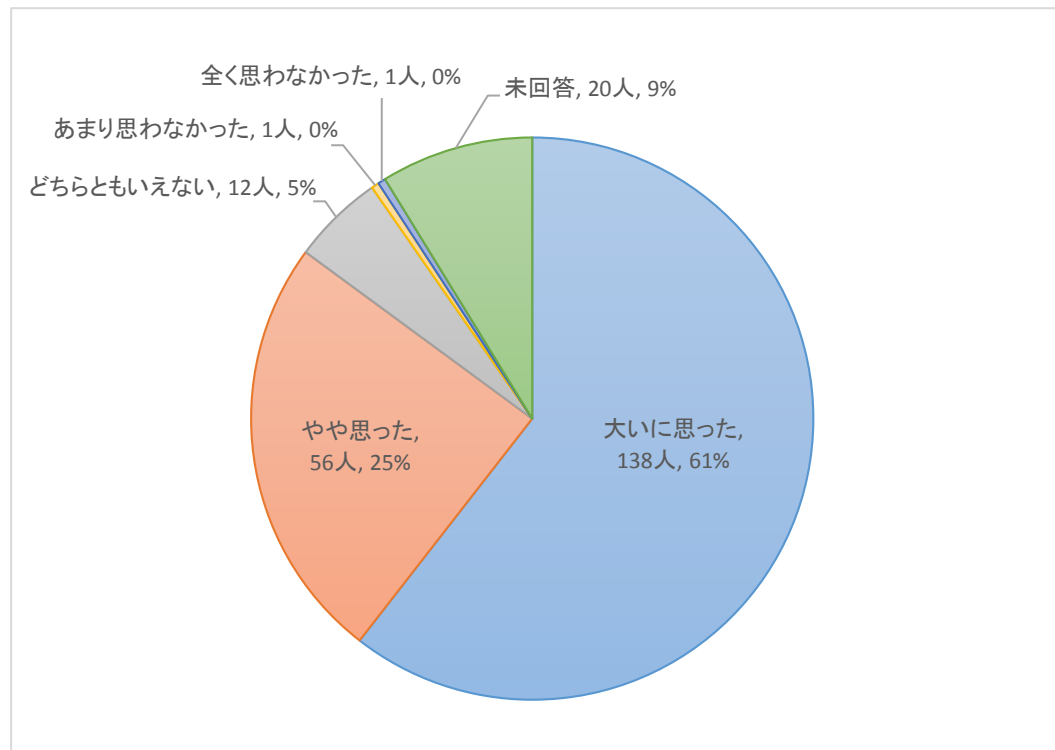
6 本日の内容は、今後多職種との連携に活かすことができそうですか。(1つのみ回答)

活かすことができると思う	126人	55%
部分的に活かすことができると思う	63人	28%
どちらともいえない	19人	8%
あまり活かすことができないと思う	1人	0%
全く活かすことができない	1人	0%
未回答	18人	8%
	228人	



7 本日の研修会を通して、今後在宅医療や連携に取り組もうと思われましたか。(一つのみ回答)

大いに思った	138人	61%
やや思った	56人	25%
どちらともいえない	12人	5%
あまり思わなかった	1人	0%
全く思わなかった	1人	0%
未回答	20人	9%
	228人	



8 今後、在宅医療を地域で取り組む場合、学びたい情報や知識はありますか。		
県栄養士会地域活動栄養士	(管理) 栄養士	・死生観、人生をどう生きるか、いかに生きるか又はいかに死ぬかなど考えられる知識を学びたい。
病院	(管理) 栄養士	・高齢者のニーズ
病院	(管理) 栄養士	・在宅医療を受けようとする対象者の情報共有をどのような形で多職種で行っていくのか、管理栄養士として在宅での栄養管理の在り方を勉強していきたいと感じた
病院	MSW	・地域における在宅医療連携の組み方
病院	MSW	・地域の元気高齢者育成システム構築について学びたい。県内でも取り組まれている地域があるので、それぞれの取り組みを話してもらいたい。そこに医療が関わられるのか。
介護事業所関係	OT	・元気高齢者の受け皿(働き場所はあるのか)。行政はどのように動いているのか。民間はどのように動いているのか。
病院	OT	・現場で実際にやっている方々のノウハウ
病院	PSW	・特に精神科での現場(認知症)で家族が困っている現状を聞くと、地域(家庭)での背景、効率的な施設・HPは必要と思う。
地域包括センター	SW	・公衆衛生推進にかかる情報・知識
地域包括センター	社会福祉士	・在宅医療についての住民への普及方法
介護施設関係	ケアマネジャー	・認知症の一人暮らしの限界について。要支援者を要介護者にしない為には？
都市医師会	ケアマネジャー	・今後もこのような先生方の研修会をぜひしていただきたい。
地域包括センター	ケアマネジャー	・元気高齢者を作るということは、福祉開発に取り組むことかなと思いますが、ユニーク、または成功事例と言えるコミュニティーがあれば知りたいです。また、地域医療ネットワークが進んでいる自治体があれば教えていただきたいです。
診療所	医師	・在宅で介護や医療を受けたいというニーズを増やす妙案はあるか？在宅で患者を介護する家族へのサポートは充分なのか？チームの作り方やコーディネートの方法をどうやって学べばいいのか？本当にできるのか？
診療所	医師	・生活を支える医療の実践例 ・リビングウィルを明確化して医療に反映させていく実践例 ・新しい視点を持った若手医師が地域づくりの中核となっていく実例
診療所	医師	・在宅でできるリハビリ方法 ・リハビリトレーニング
診療所	医師	・具体的な事例
診療所	医師	・住まい、生活支援の問題の解決法、お金のない方の支え方、家族の覚悟の持たせ方
病院	医師	・自院の職員に関心を持たせるような情報がほしい。
	医師	・医科歯科連携のケース、栄養学

8 今後、在宅医療を地域で取り組む場合、学びたい情報や知識はありますか。		
郡市医師会	看護師	・地域住民への在宅医療に関する普及啓発をする際のポイント(かかりつけ医)をもつ、健康意識をもつ?
郡市医師会	看護師	・地域ケア会議の進め方
郡市医師会	看護師	・死ぬということ。最後の迎え方など。
地域包括センター	看護師	・リハ職をより地域支援事業に取り組み有効活用すること
病院	看護師	・離島における在宅医療の推進について
病院・介護事業所関係	看護師・ケアマネ	・地域包括ケア病棟として、コーディネート後のあり方など
介護事業所関係	看護師・ケアマネ	・在宅医療の実際のすすめ方(準備)在宅医療の対象となる方の例(具体的な)、専門職としての関わりの実際、取り組みのイメージができるようなもの
介護事業所関係	事務	・「地域」住民の意識を変えるヒントがほしいと今回強く思いました。
郡市医師会	事務	・住民への普及啓発の進め方、講師、他の地域での取り組み状況
診療所	事務	・鹿児島県内の各市町村の地域包括ケアシステムづくりについて(進捗やネットワークの仕組みなどどういった取り組みをしているのか。)
診療所	事務	・行政(奄美市役所)が在宅医療についてどう考えているのかと思い、奄美市の考える在宅医療など
診療所	事務	・診療報酬改定に対する対策、在宅分野で生き残るためにどういう視点を持つべきか等
保健所	事務	・限られた地域資源しかない地域での医療連携の実例・構築の方策
郡市医師会	保健師	・今後地域づくりの視点での取り組みが必要になってくるかと思えます。多職種も医療関係者だけでなく、まちづくりの企業や行政職員のご意見等をお聞きしたいです。
県市町村職員 /	保健師	・これまでこのような在宅医療に関する研修に参加したことがなく、勉強不足なので色々な内容をお願いしたい。保険の分野の役割も具体的にアドバイスいただけるとありがたいです。
地域包括センター	保健師	・在宅医療を推進するためのマネジメント力 ・多職種連携のためのネットワーク作りの手法 ・在宅医療と地域ケア会議の関係性
病院	保健師	・在宅でご家族を見る方の案内ツール(在宅のメリットツール→パンフやDVD)
保健所	保健師	・看取り。いかに地域で行えるのか。それに関する情報
保健所	保健師	・職種ごとの取り組みの仕方、できることすべきことが具体的に見える内容。その上での多くの職種とのかかわり方、橋渡しの仕方
保健所	保健師	・社会資源の活用方法
保健所	保健師	・講演を聞くと、在宅医療についてなるほどと思えますが、他の人に説明するとなるとまだまだ難しい気がしますので学習を積んでいきたいと思いました。
保健所	保健師	・在宅医療を地域でいい取り組みをしている具体的な実例(限られた資源をどのように活かしているか等参考となる例)

8 今後、在宅医療を地域で取り組む場合、学びたい情報や知識はありますか。		
訪問看護ステーション	訪問看護師	・元気老人が働ける地域づくり。皆が障害があっても生活費を稼ぎながら暮らしながら生きていける社会づくりは是非お願いしたい。
訪問看護ステーション	訪問看護師	・訪問看護師に対する在宅医療での必要な知識を共有でき、各地域で、訪問介護があたりまえに利用されるような力をつけるような研修会等
訪問看護ステーション	訪問看護師	・後方支援病棟についてもっと学びたいです
訪問看護ステーション	訪問看護師	・元気高齢者の活動の場をつくることを学びたい。
歯科医院		・多職種連携するときに、使用する共通の言語がかみ合わないことが多いことに気付きました。言語の壁はどのようにすれば良いのはわからないので知りたいです。
診療所		・今日のような研修会を増やしてほしい
診療所		・認知症サポートでは、深刻な問題としてとらえています。治療や対応など専門性が問われるし、かかわる医療、介護側もちろん家族も含め地域住民を巻き込む体制が必要になります。在宅で・・・という問題は高齢者への対応では難しい。「今自分たちに何ができるのか」と問いながら少しずつ関わっていけるシステムが必要になると改めて痛感しました。
診療所		・地域で取り組む場合、ある程度の情報が必要であるが、それが困難のように思います。
診療所		・認知高齢者の対応について、接遇なども含めて

9 その他 ご意見や感想をお聞かせください		
病院	(管理)栄養士	・入院から地域への流れがこれから加速していくのではないかと感じた。その為にも地域で支えるシステムづくりが重要となってくるかと思う
病院	MSW	・講演いただいた内容から今後仕事に活かしたいと思うようなものが散らばっており大変勉強になりました。特にかかりつけ医のネットワークについてもっと重視して考えていきたいと思いました。また、今のような資源を有効活用できるような仕事を進めていきたいと改めて思いました。
病院	MSW	・とても興味深く聞かせていただきました。学生全体（医療、福祉系のみならず）に必要な教育であると思いました。
介護事業所関係	OT	・結局、人生観・死生観、そういったところへの働きかけも必要な気がします。システムづくりに努めたいと思います。ところで、財源はあるのでしょうか。「人」「物」「金」をうまくネットワークでつなげられるよう、官民で頑張ります
訪問看護ステーション	PT	・医療介護に依存しないという考え方が地域全体に広がるように…私自身も考えを改め、また連携する中でその気持ちを持って取り組みたいと思いました。ありがとうございました。
地域包括センター	ケアマネジャー	・地域医療にこれほど熱心に取り組まれている先生がおられると知りませんでした。とても心強く感じました。
介護施設関係	その他	・福祉の世界では、医師を除き、それなりに取り組んでいる。医師が連携してくれることを望みます。
病院	その他	・母が認知症です。今後のかかわり等学ぶことができ、支えるものとして母を支えることを学ぶことができました。ありがとうございました。
地域包括センター	未回答	・テレビ会議システムを利用しての中継はなかなか鹿児島までいけないため、とても助かります。ぜひこれからもこの方法をお願いします。また、同じ時間だけでなく録画したものを昼間とかにも研修していただくと、もっと多職種に聞いてもらえると思いました。
診療所	医師	・「かかりつけ医に求めること」という視点は連携構築の阻害因子となる可能性がある。「医師が他職種にできること」「他職種が医師にできること」という視点で考え直す必要がある。他職種が最低限すべきことは①「アポイントメント」②「グループウェアなどの」時間制限の少ない連携ツールの使用であることを共有すること「大学の意識改革」が地域包括ケアの鍵であることは理解できました。象牙の塔(大学)から見た地域づくりは総論的(概念的)で現場ごとの解離が大きく役に立たない「見取り」「看取り」と書きたかったのでしょうか。それすら適切に示せない演者は呼ぶ価値はない(榎本先生の地域ケア会議での実践はないのでしょうか)
診療所	医師	・高杉先生や榎本先生の実践されている現場を拝見したいと思いました。
診療所	医師	・離島のような資源の少ないところは少し違ったシステムを作る必要がありそうです。
診療所	医師	・もう少し実になる話が聞けるかとも思いましたが、今日の内容はとても残念でした。次回の研修会に期待いたします。
病院	医師	・地域づくりに対する財政的バックアップは十分に考えられているだろうか。
介護事業所関係	介護職員	・元気な高齢者を増やす、医療介護の一体化についても大事なだと実感しました
郡市医師会	看護師	・認知症への取り組みについて、なかなか在宅医療推進事業内容への具体策があげられません。
郡市医師会	看護師	・目的を見失わないようにしたいと思いました。ありがとうございました。
郡市医師会	看護師	・医師の意識改革…。本当に難しいです。要となるDrがこのような講演を聞きに来ない…残念です。でも、同じベクトルに乗る…心に響きました。在宅医療に関われる仕事で本当に勉強となります。住民としても、Nsとしても。
診療所	看護師	・今ある資源・人材を環境を利用しての活用というシステム作りをということを聞き、今後の光が見えてきたような気がします。
診療所	看護師	・皆で力を合わせていく事の重要性を痛感しました

9 その他 ご意見や感想をお聞かせください		
診療所	看護師	・地域全体で取り組むことができればと思いますが、これまでの認識、在宅で看れるという認識が持てるようになるまでは難しいと思いました。
診療所・介護事業所関係	看護師	・医師会の先生方が患者様利用者様の病気だけでなく、生活人生の方に目を向けていただけるとてもありがたいと感じました。お医者様が医療機関の中だけでなく家庭の中での様子を直に見て知っていただけること実際に進むとよいなと思っています。
地域包括センター	看護師	・離島からの参加でした。住民の方に「かかりつけの先生はどなたですか？」と聞けば、「先生は次々と変わるから誰がかかりつけなんて知らんよ」と答えられる方が多いところ。まずかかりつけ医を持つという第一歩からも難しい地域ではありますが、まだまだ共助が多く残っている、その強みを活かし、そして元気高齢者も多い自らの地域の良さを活かした地域包括ケアシステム作りに取り組んでいきたいです。
病院	看護師	・榎本先生の話は興味深く面白かったです。いろいろ医療について考えさせられました。もっと情報を集め、柔軟に考え、今後の在宅支援に取り組めるようにしていきたいと思いました。ご講演ありがとうございました。
病院	看護師	・たぶん民性もあるかと思いますが、なかなか医師との協働が図れないことが一番の課題です。倫理的感性の高いお2人のような医師が増えることを切望いたします。
病院	看護師	・訪問看護を予定しているが、地域医療という点で、当院だけでは難しい現実を感じた。
訪問看護ステーション	看護師	・同様の研修会に顔を出す人が限られてきた。地域医療のネットワークにすでに入っている側から思うことは、総合病院など大きな組織の医師や看護師に地域医療のことをもっと興味を持っていただいて、連携が取りやすくなればと思います。
歯科医院	歯科医師	・かかりつけの歯科医として、まれに、入院や有料老人ホーム、老人ホームに入った方から見てもらいたいわれ訪問歯科診療に行ったとき、ほかの歯科医がかかっているからと断られる時がある。かかりつけはあまり関係がないように思えることがあったが、このような時はどこに相談するとよいか知りたかった。
介護施設関係	事務	・資料があまりにも多く追いかけるのに大変だった。持ち帰ってゆっくり見たい。もっと時間がほしかった。
診療所	事務	・本人が望む在宅医療を支えることが大切である。が、本人が在宅を望まない場合、それを受け入れることは大事ではないか？本日の話では在宅を望まない人の方の在宅に持っていくようなシステムづくりが大切だということに聞こえた。(理解が不十分だったら申し訳ありません) ・在宅や連携をとるときに、特別な関係にある医療機関介護施設との連携はほとんど評価されない。この点は変更すべきではないのか。(特に離島などは医療資源が限られているのだから)
診療所	事務	・地域の病院の連携強化をもっと強めていきたい
病院	事務	・大変役立つ内容で勉強になりました。
保健所	事務	・自分の親が介護を受ける年齢になり、医療・介護の現実、これからの方向性など有益な情報に触れることができました
県市町村職員	保健師	・今日の講演を聞き、私自身もエンパワーメントされました。職場に持ち帰り取り組んでいきたいと思えます。ありがとうございました。
県市町村職員	保健師	・本日は貴重な機会を有難うございました。危機感を持ってチームの一員としての自覚を持ってネットワーク作りに取り組みたいと思いました。
県市町村職員	保健師	・直接在宅医療に携わる部署ではないのですが、一住民として、行政専門職として心しておかねばならないと思いました。「医療に頼らない、生き方を考える」という考え方の普及(医療内も含めて)が必要だと思いました。榎本先生のお話は2回目でしたが素晴らしい内容だと思います。有難うございました。余計なことかもしれませんが、もっと設定時間を長くしても良いのではと思います。設定時間を超えると間延びした感が否めなく、せっかくの講演の効果が少し薄れる気がします。(遠方から来られている方々もいらっしゃると思いますので時間を過ぎるのは…)
県市町村職員	保健師	・認知症の高齢者を施設に入れずに在宅で見るといかに地域の力を活用していくか、元気高齢者の活躍する場を作ることが必要ということが再確認できた。入院・施設に依存している住民意識の改革が一番の在宅医療を進めるうえでの課題だと思う。

9 その他 ご意見や感想をお聞かせください		
地域包括センター	保健師	<ul style="list-style-type: none"> 市、郡医師会をまとめる組織が弱すぎます。医師会がまとめることが大事ですが事務局を充実させないと(人的配置を含めて)動けない実態があるように思えます。しかし、今回県医師会が委託を受けられたことは、市、郡医師会の意識を変えられる第一歩と思われる。引き続き先生方の意識改革を期待いたします。
保健所	保健師	<ul style="list-style-type: none"> 熊毛地域から参加しました。残念ながら、地域の医師会との連携の難しさを感じています。かかりつけ医チーム、医療チームは無理です。島は現在高齢者人口はピークを迎えています。これから島は急激な少子化が進んでいきます。これからの医療を看護を、続けていくために医師も看護師も若手医師もいません。高齢化し、医療の維持も厳しくなっていくそうです。まさに、有床診療所もなくなります。 やはり先生方は儲かる医療を目指し、先生方が連携するにも分断されています。医師にアンケートを取っても連携に困っていないと答えています。周囲は医師との連携が取れていないと思っている状況なのに！！ また、鹿児島大学病院の先生方が来てくださって島の診療を支えています。大学の先生方にも在宅医療連携の教育をしっかりとやっていただきたいと思います。
保健所	保健師	<ul style="list-style-type: none"> 貴重なお話を有難うございました。
病院	訪問看護師	<ul style="list-style-type: none"> ①診療における、処方が多さ、服用確認はなされず大量の処方が延々と行われている点。 ②精神科の長期入院は医療機関の経営のためという矛盾に焦点をあてていただきたい。 全体的に今後の日本全体を見据えての現実的なお話、とても感銘を受けました。
訪問看護ステーション	訪問看護師	<ul style="list-style-type: none"> 借金国日本の破たん、子孫に負を残さないための方策に向け行政・しっかり取り組むためにも医師会から発言された野村先生ありがとうございました。
訪問看護ステーション	訪問看護師	<ul style="list-style-type: none"> 訪問看護師として仕事をしている中で医師・ケアマネージャーとの関係づくりが難しいこともあります。訪問看護師<病院の看護師という古い考え方もまだまだ残っている気がします。今回医師会のトップの方々の地域包括への考え方も聞けてとてもうれしく感じました。
未回答	未回答	<ul style="list-style-type: none"> 行政がらみの話題が多く、用語すらわかりませんでした。(ヘルスプロモーション、ソーシャルキャピタルなど)。具体方法などについてのご講演を拝聴したいと思います。もしかしたらこれまで第1回～第3回の内容なその内容だったのかもかもしれませんが…。